

幼児教育学科

科目名: 保育心理演習			担当教員 氏名: 石津 孝治		
単 位	開講時期(年次・期)	科目の区分	授業方法	(卒業要件) 必修/選択	備考
2	2年次 後期	専門科目	演習	選択	
実務経験を用いてどのよ うな授業を行っているか:					
授業科目の学習教育目標の概要:					キーワード
2年次前期科目「保育実践演習」と原則セットで、1年を通して心理学領域の知識を深める。主に心理学的援助と子どもの発達に焦点を当て、受講生が自主的にテーマを設定し、掘り下げていく。前半は各自が設定したテーマに関する文献等について、個人またはグループで発表しディスカッションを行う。後半は各自のテーマに沿った個別指導となる。主体的な学びによる知識を深め、定着させるためにレポート集を作成する。					・心理的援助 ・発達
授業における学修の到達目標					
学習教育目標 (卒業認定・学位授与の方針との関連)		自己形成を進める行動目標 (福短マトリックスで示される番号)		1. 2. 3. 4. 5. 6. 7. 8. 9. 10	
A 知識・理解力	設定したテーマについて深く理解できる。				
B 専門的技術	対人援助の基礎的技法が習得できる。				
C 論理的思考力	設定したテーマを追求し、その成果として総合演習集が作成できる。				
H コミュニケーション力	発表場面等で適切に伝えられる。また、ディスカッションできる。				
成績評価の方法・基準: 以下の方法により評価し、学則および履修要項に従い、60点以上を単位認定とする					
テスト: %	レポート: 70 %	発表: 30 %	実技試験: %	その他: %	
特記事項:					
アクティブラーニング要素: 課題解決型学習 (ディスカッション) デイバート グループワーク (プレゼン) ション 実習、フィールドワーク					
テスト・レポート・発表・実技試験等の実施時期:					
課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法: 毎回の課題についてコメントを伝える。					
授 業 計 画			準備学習(予習・復習等)		
			学習内容	学習に必要な 時間(分)	
①子どもの発達、心理学援助等に関する文献等の発表と討論1			発表者は発表内容を構成し資料を作成する。	予習30分	
②子どもの発達、心理学援助等に関する文献等の発表と討論2			発表者は発表内容を構成し資料を作成する。	予習30分	
③子どもの発達、心理学援助等に関する文献等の発表と討論3			発表者は発表内容を構成し資料を作成する。	予習30分	
④子どもの発達、心理学援助等に関する文献等の発表と討論4			発表者は発表内容を構成し資料を作成する。	予習30分	
⑤子どもの発達、心理学援助等に関する文献等の発表と討論5			発表者は発表内容を構成し資料を作成する。	予習30分	
⑥子どもの発達、心理学援助等に関する文献等の発表と討論6			発表者は発表内容を構成し資料を作成する。	予習30分	
⑦各自のテーマに応じたレポート作成指導					
⑧各自のテーマに応じたレポート作成指導					
⑨各自のテーマに応じたレポート作成指導					
⑩各自のテーマに応じたレポート作成指導					
⑪各自のテーマに応じたレポート作成指導					
⑫各自のテーマに応じたレポート作成指導					
⑬各自のテーマに応じたレポート作成指導					
⑭発表準備			パワーポイントで資料作成	予習30分	
⑮発表実施			パワーポイントで資料作成	予習30分	
使用テキスト:			その他参考文献など: 学生の課題に応じて紹介する		
受講上の留意点(担当者からのメッセージ):					